

4回生 選択科目「書道Ⅰ」授業のシラバス

教科名	芸術	科目名	書道Ⅰ	単位数	2	単位
科目の目標	○書道の幅広い活動を通して、生涯にわたり書を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、書写能力の向上を図り、表現と鑑賞の基礎的な能力を伸ばし、書の伝統と文化についての理解を深める。					
教科書	書道Ⅰ（数研出版）	副教材				

1 学習の目標

- (1) 小中学校での書写を基本に、文字を素材とした芸術としての書道を学び、古典に基づく表現力・鑑賞力を身につける。
- (2) 「漢字仮名交じりの書」「漢字の書」「仮名の書」、篆刻・実用書（硬筆）における表現力を偏りなく身につける。
- (3) 書道の幅広い活動を通して書を愛好する心情を育て、感性を豊かにし、創造的な表現力を身につける。

2 学習の方法

- (1) 予習について
 - 必要ありません。
 - 道具の確認をしましょう。（筆が固まったままになっていないか。半紙が必要枚数あるかなど。）
- (2) 授業について
 - ①実技が主になります。必要な道具等（墨をすります。固形墨とプラスチックではない硯が必要になります。）の詳細については年度当初のオリエンテーションで説明します。
 - ②授業が始まる前に道具の準備をし、実技ができるようにしておきましょう。
 - ③定期考査はありません。評価は具体的に次のものを対象にします。
 - ・各時間、提出を指示した「作品」
 - ・自分の制作過程や感想文など自己評価ができる「作品カード」
 - ・学習活動への参加状況（出席状況・学習態度・意見発表等）
 - ④作品提出後は後片付けをしっかりと行いましょう。使用した教室は「来たときよりもきれいにする」を心がけて行いましょう。
- (3) 復習について
 - 採点されて返ってきた作品は大事にし、保存しておきましょう。

〈学習アドバイス〉

- 「書は人なり」書く時の気持ちや臨む姿勢は必ず作品に表れます。心を込めて、世界でただ一つの自分だけの作品を作りましょう。
- 書道は芸術です。書写の領域を発展させて、鑑賞することの楽しさと表現の楽しさを味わいましょう。

3 評価について

(1) 評価の観点

観 点	趣 旨
①知識・技能	書の表現の方法や形式、書表現の多様性について幅広く理解している。書写能力を向上させるとともに、書の伝統に基づき、作品を効果的に表現するための基礎的な技能を身に付け、表している。
②思考・判断・表現	書のよさや美しさを感じ、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりしている。
③主体的に学習に取り組む態度	主体的に書の表現及び鑑賞の幅広い活動に取り組もうとしている。

(2) 評価の方法（以下観点①～③は「(1) 評価の観点」と対応する）

観点	評価材料											
	定期考査	単元テスト	小テスト	実技実習	発言発表	作品	レポート	ノート	ワークシート	討議		
①知識・技能				◎	○	◎						
②思考・判断・表現				◎	○	◎						
③主体的に学習に取り組む態度				○	◎	◎	◎					

〈担当者からのメッセージ〉

- 考査はありません。毎回の提出作品と作品に臨む姿勢が評価になります。
- とにかくたくさん練習し、書かなければ良い作品は生まれません。自分の限界を低く設定せずに、最後までがんばりましょう。
- 返却された作品は整理し保管しておきましょう。

■本校で目指す生徒像と身につける資質・能力

高い知性						豊かな人間性			健康な心身		郷土愛と国際性	
探求心		情報活用力		調整力		自律心	寛容さ	感受性	生命尊重の心	強くしなやかな心身	日本人としての誇り	多様性の尊重
関心・意欲	問題発見力	情報収集力	論理的思考力	共感的態度	意見交換・調整力							
A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
課題に関心を持ち、問題発見・解決へ向けて意欲的に取り組むことができる。	生じている問題や今後生じうる問題について理解し、解決方法を提案することができる。	多様な視点から必要な情報を収集し、整理・分析して、意見に結びつけることができる。	事象や関係を把握し、多様な情報を整理・分析し、論理的に思考することができる。	相手の感情、思考、行動を理解し、共感を示すことができる。	他者の主張を理解し、自分の主張と調整し、互いに納得できる結論を得ることができる。	強い意志をもち、周囲に流されることなく、困難に立ち向かうことができる。	異なる価値観や多様な特質を理解し、尊重しながら、互いを高め合うことができる。	有形無形のものや自然に対し、その価値を素直に受け止めることができる。	命の尊さや健康の大切さを理解し、何より自他の生命を尊重することができる。	困難に負けない強い心と体をもち、あらゆる課題に対して柔軟な対応ができる。	郷土に対する深い理解と愛着をもち、日本のよさを伝えることができる。	世界の多様性を理解し、多面的・多角的な視野から他者と接することができる。

4 授業計画 ※【知識・技能】→①、【思考・判断・表現】→②、【主体的に学習に取り組む態度】→③

月	単元	学習内容	評価の観点	考査等	資質・能力
4	漢字仮名交じりの書 (20)	①用具・用材 ②姿勢・執筆法 1 各種用具・用材を実際に手にとって鑑賞する。 2 様々な腕の構え方や筆の持ち方、姿勢で書く。	①基本的な用具・用材に関する知識を持ち、扱っている。 ②用具・用材が多種で、線質や表現方法が多種であることを理解している。③用具・用材の特性を生かした表現効果を理解している。④用具・用材の鑑賞方法と書の文化の幅広さを理解し、味わっている。		ABCEL
5		③書写の確認 1 書写で学習した字形、配置、筆順等を踏まえ、漢字の楷書・行書と仮名の調和を考えて書く。	①楷書・行書に調和するする仮名に関心を持ち、書写扱った内容を生かそうとしている。③文字を正しく整えて書く仕組みを理解し表現している。④整った文字の美を理解し、味わっている。		
6		④書写から書道へ	①多様な線による漢字と仮名の調和に関心を持っている。②多様な線を理解し、その表現の工夫をしている。③多様な線質による漢字と仮名の調和を理解し表現している。④多様な線質の持つ、それぞれの美しさを深く味わっている。		
7		⑤漢字と仮名の調和の理解 1 起筆の穂先の向きを工夫して、さまざまな線を書く。 2 様々な線で楷書と平仮名・片仮名を書く。 3 様々な線で行書と平仮名を書く。			
8		⑥用具・用材による表現の変化 1 各種の用具・用材を実際を使って書く 2 紙や墨の色、筆の種類による表現の変化を理解する。	①用具・用材によって表現が変化することに関心を深めている。②用具・用材の選択によって表現の仕方を工夫している。③用具・用材の違いによる表現を理解し、創造的な自己表現をしている。④表現方法の違いを理解し、味わっている。		
9		⑦紙面構成のバリエーション 〇創作の手順 1 作品の効果の違いを理解し、紙面構成を工夫して書く。 2 言葉や詩文を選び、創作の手順を踏まえて表現する。 文化祭への出品	①紙面構成と創作の手順を理解し、意欲的に創作作品に取り組んでいる。②文字の大・小・配置・書体の選択など、創作構想に即して工夫している。③多様な紙面構成の表現を行い、創造的な自己表現をしている。④自己作品、他者作品を鑑賞し、表現方法について発表することができる。		
10		⑧落款と篆刻・刻字 1 篆刻の手順を理解し、落款印を作成する。 文化祭への出品	①書作品の落款が作品の中で重要であることに関心を深めている。③印稿での表現と実際に運刀する段階において工夫し表現している。		
11		⑨漢字の成立と変遷	①各古典の用筆、運筆、字形のとり方に関心を示し、意欲的に臨書に取り組んでいる。②各古典の表現方法が理解でき、工夫して表現している。③各古典の書風の違いが分析でき、さまざまな線質を表現している。④各古典の鑑賞を通して、多様な表現の美しさを理解している。		
12		⑩漢字の成立と変遷 ①楷書 (臨書・鑑賞) ・九成宮醜泉銘・孔子廟堂碑・雁塔聖教序 ・自書告身・牛欄訣造像記・鄭義下碑 ②行書 (臨書・鑑賞) ・蘭亭序 (神龍半印本) ③隸書 (臨書・鑑賞) ・曹全碑 1 漢字の五体について学習する。 2 楷書の用筆、運筆、結構や字形のとり方について練習する。 3 唐の四大家の書風をはじめ、さまざまな書風の楷書に触れ、練習してみる。 4 古典の臨書について学習する。 5 楷書で書かれた古典の用筆、運筆、字形の取り方などに注意して臨書する。	①作品の創作手順を理解し、作品制作に興味・関心を深めている。②今まで学習した表現要素をもとに工夫して表現している。③用具、用材、雅印を含めて表現に取り組み、創造的な自己表現をしている。④自己作品、他者作品を鑑賞し、表現方法について発表することができる。		
1		漢字の書 (30)	④創作の手順 1 創作カレンダーを制作する。		
2		⑤楷書 小字 ・偶寺心経 1 偶寺心経の写経ををする。			
3		④創作の手順 1 創作カレンダーを制作する。			
4	仮名の書 (20)	①仮名の書 ・いろは歌・仮名の用具・用材・仮名の筆使い・平仮名の単体・連綿 変体仮名 1 平仮名の字母(字源)を覚える。 2 連綿、変体仮名を理解し、練習する。 3 行書きと散らし書きを練習する。 4 平安時代の代表的な古典について鑑賞し、臨書する。	①仮名の基本的な筆使いや平仮名の単体、連綿、変体仮名の書き方や独特の美しさに関心を深めている。②仮名の筆使いを理解し、散らして書く方法において表現を工夫している。③仮名の筆使と表現に積極的に取り組み、自己表現している。④仮名の連綿、変体仮名、構成方法、濃淡による美しさを味わうことができる。		ABCEL
5		②生活に生きる書(創作) 1 これまでに学習したことを生かして大判 画仙紙にグループで共同制作する。 2 さまざまな字体、筆記具を用いてテーマに沿った作品を制作する。	①これまでに学習したことを参考に自分の目標を決め、意欲的に書こうとしている。②さまざまな字体や筆記具を用いて、その特徴を生かしながら書いている。③効果的に表現する方法を理解している。④自己作品、他者作品を鑑賞し、表現方法について発表することができる。		

